

【SUVT】

Adobe Flash Playerの取り扱い変更について

2016/7/9

SkillUp Video Technologies Corporation

目次

0. 前書き
1. ブラウザ製造元からのアナウンス
2. 動画プレイヤーへの影響
3. 対策
4. 新方式の動画プレイヤー
5. 動画プレイヤーの移行(1)
6. 動画プレイヤーの移行(2)

0. 前書き

本書は、弊社サービスをご利用中のお客様への情報提供を目的として、ブラウザの製造元からアナウンスされたAdobe Flash Playerの取り扱い変更の内容とそれによる動画プレイヤーへの影響、及びそれに対して弊社が提示する対策と主なタスクについて記載します。本書の内容についてより詳細な情報が必要な場合には、その旨お申し付けください。

1. ブラウザ製造元からのアナウンス

主要なブラウザの製造元からAdobe Flash Playerの取り扱いを変更する旨がアナウンスされています。ブラウザ製造元からのアナウンスの内容を以下に記載します。

■ ブラウザ製造元からのアナウンスの内容

| ブラウザ製造元 | ブラウザ | 取り扱いの変更 | ワークアラウンド | 時期 |
|-----------|--------|--------------------------------------|------------------|-------------------------------|
| Google | Chrome | デフォルトで無効化 ※特定のサイトを除く | ユーザによる明示的な有効化の選択 | 2016/Q4 ※Chromeブラウザアップデート |
| Microsoft | Edge | ブラウザの判断により機能を停止する可能性がある ※明確な基準は不明 | ユーザによる明示的な有効化の選択 | 2016/夏 ※Windows 10アップデート |
| Apple | Safari | デフォルトで無効化 | ユーザによる明示的な有効化の選択 | 2016/秋 ※macOS 10.12 Sierra |

※Microsoft Internet Explorer及びMozilla FireFoxについては、明示的なアナウンスはありませんが、現状の維持は保証されていません。

2. 動画プレイヤーへの影響

弊社が提供する動画プレイヤーの一部は、Adobe Flash Playerアプリケーションとして実装されているため、前記の変更により影響を受けることが予想されます。

対象となる動画プレイヤーとその影響を以下に記載します。

■対象となる動画プレイヤーとその影響

| 動画プレイヤー | 対応配信方式 | 影響 |
|-----------------------|--|--|
| ULIZA Player (PC) | HTTP Live Streaming Widevine Adaptive Streaming | ユーザによる明示的な有効化が選択されない場合、動作が停止する。それに伴い、動作の集計が正しく行われない可能性がある。 |
| ULIZA Player (Legacy) | Flash Streaming | ユーザによる明示的な有効化が選択されない場合、動作が停止する。それに伴い、動作の集計が正しく行われない可能性がある。 |

※SP/TABの動画プレイヤーは影響を受けません。

3. 対策

弊社は、前記の影響に対して以下の対策を提示します。

■対策

影響の対象となる動画プレイヤーの代替として、2016/8に新方式の動画プレイヤー※をリリースします。

※HTML5 video拡張を利用して実装されるULIZA Player (HTML5)

4. 新方式の動画プレイヤー

ULIZA Player (HTML5)の仕様概要を以下に記載します。

■ ULIZA Player (HTML5)仕様概要

- 実装方式
HTML5 video拡張
- 配信方式
HTTP Live Streaming
MPEG-DASH
※Flash Streamingには対応しません。
- ブラウザ
Chrome/Edge/Safari/FireFox (HTTP Live Streaming)
Chrome/FireFox (MPEG-DASH)
- DRM
Widevine Modular DRM (MPEG-DASH)
- 配信モード
VOD/ライブ
※将来のアップデートによりDVRモードに対応予定です。
- マルチビットレート配信
アダプティブ
- 広告機能
プリロール挿入(インストリーム動画広告及びコンパニオンバナー)
※将来のアップデートによりミッドロール/ポストロール挿入に対応予定です。
- 再生速度切り替え方式
単一ビデオの受信速度切り替え方式
- 制御API
ULIZA Player (HTML5)専用API



ULIZA Player (HTML5)のUI

5. 動画プレイヤーの移行(1)

動画プレイヤーの移行に必要な主なタスクと影響の一覧を以下に記載します。

■ 動画プレイヤーの移行に必要な主なタスクと影響の一覧

| 動画プレイヤーの移行 | 主なタスク | 主な影響 |
|---|--|---|
| ULIZA Player (PC) ⇒ ULIZA Player (HTML5) | <ul style="list-style-type: none"> ・ サイトへの動画プレイヤーの組み込み ・ 必要に応じた再生速度切り替え方式の変更 ・ 必要に応じた制御APIとの連携 ・ 必要に応じたDRMの変更 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 対応ブラウザの変更 ・ 対応配信モードの変更 ・ 対応広告機能の変更 ・ UIの変更 |
| ULIZA Player (Legacy) ⇒ ULIZA Player (HTML5) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 配信方式の変更 ※Flash Streaming ⇒ HTTP Live Streaming ・ サイトへの動画プレイヤーの組み込み ・ 必要に応じた制御APIとの連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 対応ブラウザの変更 ・ 対応広告機能の変更 ・ UIの変更 ・ ライブ配信における遅延増 |

6. 動画プレイヤーの移行(2)

動画プレイヤーの移行に必要な主なタスクと影響の内容を以下に記載します。

■動画プレイヤーの移行に必要な主なタスクの内容

- サイトへの動画プレイヤーの組み込み
貼り付けタグを利用している場合、別の貼り付けタグへの変更、またはスタンドアロン実装への変更が必要です。
スタンドアロン実装を利用している場合、貼り付けタグへの変更、または別のスタンドアロン実装への変更が必要です。
- 再生速度切り替え方式の変更
コンテンツ登録ワークフローを変更する必要があります。
※倍速ファイル生成の必要がなくなります。
- 制御APIとの連携
専用APIを利用して再実装する、または一部の機能を廃止する必要があります。
- DRMの変更
Widevine Classic DRMを利用している場合、Widevine Modular DRMへ移行する必要があります。
- 配信方式の変更
VOD配信については、HTTP Live Streamingに対応したファイルを準備する、またはSP/TAB向けの既存のファイルを利用する必要があります。

■動画プレイヤーの移行による主な影響の内容

- 対応ブラウザの変更
非対応ブラウザを対応範囲外とする、またはユーザエージェントに応じた動画プレイヤーの出し分けを行う必要があります。
- 対応配信モードの変更
DVRモードを廃止する、制御APIを用いた個別実装を行う、またはULIZA Player (HTML5)の将来のアップデートを待つ必要があります。
- 対応広告機能の変更
ULIZA Player (HTML5)の将来のアップデートを待つ必要があります。
- UIの変更
サイトデザインの調整が必要となる可能性があります。
- ライブ配信における遅延増
サービス仕様を変更する必要があります。

おわり